

地域で活躍する多職種の医療従事者対象

# 認知症対応力向上研修（集合型研修）

高齢者と日頃から接することが多い、診療所、訪問看護ステーション、介護事業所、行政機関等に勤務されている理学療法士、言語聴覚士、栄養士等多職種の医療従事者を対象に、認知症の人や家族を支えるために必要な基本知識や 認知症ケアの原則、医療と介護の連携の重要性等の知識について習得するための研修です。

地域で活躍する多職種医療従事者の皆様とともに、地域における認知症の人への支援体制づくりを考える機会として、ぜひ、受講ください。

日時 令和5年10月22日（日）13:00～16:00（受付 12:30～）

会場 神戸市教育会館 6階 大ホール（集合型のみ）  
神戸市中央区中山手通 4-10-5

受講料 無料

内容 裏面プログラムのとおり  
研修受講者には、修了証が発行されます。

対象 地域の診療所、訪問看護ステーション、介護事業所、行政関係機関等で勤務されている多職種の医療従事者（理学療法士・言語聴覚士・栄養士・その他医療従事者で関心のある方）  
※看護職、歯科衛生士は別途研修の機会があります。下記連絡先にお問い合わせください。

定員 120名（先着順）

申込 以下 URL または右の QR コードからお申し込みください。



<https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/form.do?id=1690246004660>

（申込み受付期間）令和5年8月30日～9月30日（定員になり次第終了します。）

※受講決定の連絡はいたしませんので、申込みされた方は直接会場へお越しください。

共催 兵庫県・兵庫県理学療法士会・兵庫県言語聴覚士会・兵庫県栄養士会

この研修は、下記が取得できます。

※生涯研修の単位取得に関するお問い合わせは各職能団体をお願いします。

- ・理学療法士会 登録理学療法士更新3ポイント（カリキュラムコード 132 認知能の障害）、または認定/専門理学療法士更新3点  
（連絡先：兵庫県理学療法士会事務局 078-367-7311 [pt-hyogo@aurora.ocn.jp](mailto:pt-hyogo@aurora.ocn.jp)）
- ・日本言語聴覚士協会生涯学習プログラム参加ポイント  
（連絡先：兵庫県言語聴覚士会事務局 0799-60-3600）
- ・日本栄養士会 生涯教育研修1単位  
（連絡先：兵庫県栄養士会事務局 078-251-5311、[h-eiyou@portnet.ne.jp](mailto:h-eiyou@portnet.ne.jp)）

連絡先

兵庫県保健医療部健康増進課認知症対策班担当 安東 上村

電話 078-341-7711（内線2901）

E-mail [Sakurako\\_andou@pref.hyogo.lg.jp](mailto:Sakurako_andou@pref.hyogo.lg.jp)

## 地域で活躍する多職種の医療従事者対象認知症対応力向上研修プログラム

		研修内容
<b>I 基本的知識 (40分)</b> <b>講師</b> いるか心療所 院長 (認知症疾患医療センター長) 九鬼 克俊 氏	ねらい	認知症の人や家族の視点に立ち、その生活を支えるために必要な基本的な知識を習得する。
	到達目標	1. 認知症の現状やその病態について、概要を説明できる 2. 認知症の早期発見・早期対応の意義を理解できる
	主な内容	・研修の目的と意義(認知症施策推進大綱の概要等) ・認知症とは(症状や原因疾患、認知症の経過等) ・認知症の危険因子・予防
<b>II 社会資源等 (20分)</b> <b>講師</b> 姫路中央病院 認知症疾患医療センター相談員 河岸 真子 氏	ねらい	認知症の人を取り巻く、医療・介護及び地域の社会資源の活用の重要性を理解する
	到達目標	1. 認知症の人を支える施策や仕組みを理解できる 2. 活用できる制度等について本人・家族に説明できる
	主な内容	・認知症施策の全体像 ・認知症の人への支援の仕組み ・認知症の人への支援に関する主な制度等
10分休憩		
<b>III 地域における実践(100分)</b> <b>講師</b> 兵庫医科大学病院 認知症看護認定看護師 内菌 真佐司 氏  ファシリテーター 西宮協立脳神経外科病院 認知症看護認定看護師 松永 清美 氏 関西ろうさい病院 認知症看護認定看護師 足立 理恵 氏 宝塚第一病院 認知症看護認定看護師 里村 洋子 氏	ねらい	認知症の人のQOLの向上を図るため、コミュニケーション、ケア及び多職種連携による支援の実際を理解する
	到達目標	1. 認知症の人の意思を尊重したケアの基本を理解できる 2. 認知症の人や家族への支援のポイントを理解できる 3. BPSDについて理解し、その対応について理解できる 4. 認知症である人への支援にあたって、多職種連携の意義や方法を理解できる
	主な内容	・認知症ケアの基本(本人視点の重視等) ・認知症の人の意思決定支援について ・認知症の人とのコミュニケーションの基本 ・アセスメントのポイント ・BPSDへの対応の基本 ・家族・介護者への支援 ・多職種連携の意義と実際
	ねらい	本研修で習得したことを基に、認知症の人や家族への対応の実際を考える
	到達目標	1. 認知症の人や家族への対応を習得した知識を基に考えることができる 2. 認知症の人や家族への対応を社会資源活用、多職種連携視点から考えることができる
	主な内容	事例を用いて、グループワーク
<b>まとめ (10分)</b>		